

琉球大学学術リポジトリ

1972年の沖縄返還時の有事の際の核持ち込みに関する「密約」に係る調査関連文書No.2

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 核持ち込みに問題, ジョンソン次官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43897

C

C

114

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(3) オキナワの財政問題をどう処理するか。
 (4) 国際収支不均こうのせ正の問題を中心とする日米兩國の貿易問題。
 (5) せん維問題の為に大統領が如何に困難な事態におかれているか。従つて、日本からのせん維の流入をくい止める為に如何なる方策を見出し得るか。の諸問題につき総理に御説明申し上げようとするものである。

3. 大統領の決裁をおおぐ日米コミュニケ案は、これまで日米間でせつしよしてきたオキナワ部分の他に、(1) 安保条約につきより明確に触れること。(2) せん維を含む日米貿易問題に言及すること。(3) 軍縮(SALT, NPT)についての条項を含むものである。

(右に対し当方より、あと一週間でかかる広はんなことに合意に達することは容易ではないと懸念する旨指摘したところ、先方は次の通り述べた。)

目下の案文では貿易の問題で日本側としてのめない条項もあり得ようが、あと一週間あれば十分に相談づくで了解に達し得るものとなつて観する。

シモダ大使とジョンソン次官の10月31日の会談で核に関する米側の反対提案作成の可能性が論議されたが、現段階では、文書による反対提案作成に至るかどうか未だ見当がつかない。核については、緊急事には日米双方にとり

— 2 —

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 50458
 69年11月6日20時06分
 69年11月7日12時07分

米 国 主 管
 本 省 着 米北

外務大臣殿 吉野 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題 (日本部長内話)

第3543号 極秘 至急 (ゆう先処理)

6日アイン日本部長がキウチに語るころ次の通り。
 1. 本6日ゆう、ロジャース長官は、大統領と共にそのせいよう先であるフロリダに赴く。同長官は(1) サトウ総理と会談するマイヤー駐日大使に対する訓令案。(2) 日米コミュニケ案。(3) 核の問題に関するペーパー。(4) 大統領が早急に(総理訪米前)、議会の領しゆうと会われ、オキナワ交渉経過について説明の要がある旨要望するペーパーの4文書を携行、フロリダ滞在中に大統領の決裁を求めるとしている。

2. マイヤー大使に対する訓令案は決裁を得次第一両日中に東京に訓令することとしている。そのこつ子は、
 (1) アジアにおける日米の軍事能力を保持することが如何に重要であるか。
 (2) 「核」に対する日本の感情、国内事情は了解するところであるが、他方、抑止力として大事であり、緊急の場合に「核」をどうするか。

外務省
 事務次官
 官審長
 儀審文会
 総人電厚計

参調折企
 参領旅移

参地中東
 長 北 西

参北北保

中南審歐

参西東洋
 長 西 東

近参審近ア

次総経國万

参實統國
 参政技二
 長経協長
 余 國一理

参余協規

参政経科

軍社専

参道内外
 一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

共通した危険であるとの認識の下に行動するといったような主旨の条項が追加されれば、目下の日本案に異存はない。

4. 総理と大統領の会談では、(1) 国際情勢の展望 (2) オキナワ (核、財政)、(3) 日米のアジア政策 (ポストVN、経済協力)、(4) 両国通商問題 (せん維、B.F.) を議題にすることとて日米間の話し合いは進んでいるが、米側としては、会談の冒頭に日米関係の重要性をあらためて強調、意見を交かんした上で上記議題に入りたいと考えている。日本側としてはむしろオキナワ、コミニョケを早くかた付け、以上で日米関係につき話し合をすすめたがつているようだが (7)